

不具合事例

整理番号 T-05-001

タイトル	VOC 含有排水処理計画におけるランニングコスト増！		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質		
土地履歴	<input type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center; color: red;">「その計画で、活性炭足りますか？」</p>		
作業内容	揮発性有機化合物 含有排水処理		
使用機器	水処理設備(原水槽、曝気槽、活性炭吸着槽、砂ろ過槽等)		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> 揮発性有機化合物 (VOC) 含有排水の処理設備計画に際し、VOC 濃度を低く見積もったため、ランニングコスト(活性炭交換費等)が計画よりも高価なものとなった。 			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 計画時に、調査結果により汚染濃度等を把握する。(計画者) 計画濃度に対して、活性炭等の消耗材の使用量および期間等を算出しておく(交換時の目安)。(計画者) 調査結果の処理濃度に対して、ある程度の安全率を見込み活性炭等の消耗材料を計画する。(計画者) 実際に処理する原水槽の汚染濃度を測定する。(監督者) 処理後の排水の汚染濃度を測定する(排水基準適合)。(監督者) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 所定の基準値(排水基準)に適合していない場合、排水を中断する。 活性炭等の消耗材の交換を行う。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 排水基準値は水質汚濁防止法、下水道法及び各地方自治体によって定められているため、適切な排水基準値の確認が必要である。 			
関連法規等、出典			
キーワード	揮発性有機化合物含有排水、活性炭吸着、		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

VOC 含有排水処理計画におけるランニングコスト増！

説明図



作業内容

揮発性有機化合物含有排水処理

指示事項

- ・ 計画時は、事前に調査結果により汚染濃度等を把握する。
- ・ 計画濃度に対して、活性炭等の消耗材の使用量および期間等を算出しておく(交換時の目安)。
- ・ 調査結果の処理濃度に対して、ある程度の安全率を見込み活性炭等の消耗材料を計画する。
- ・ 実処理時は原水槽および処理後排水の汚染濃度をそれぞれ測定し、異常があった場合は速やかに監督者へ連絡する。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン